

# 災害に負けないまちになるために 住民パワーでできること

7月2日(日)、飯山市総合福祉センターを会場に「住民助け合いセミナー」が開催され、約60名が参加されました。

ひとり暮らしの高齢者、介護者、障害者の方々にも参加していただき、地区を単位としたグループごとに分かれて、災害が起こった時に住民同士でできる支援活動のしくみを考えたり、福祉避難所に必要な機能について考え合いました。

## ★事例発表

飯山市の災害の記録  
飯山市市前防災係長  
丸山茂実氏

実際に起こった飯山市の水害、雪害の状況について説明し「隣近所の心づな」が災害時に強い力になります」と話されました。

★講演とワークショップ  
山梨県障害福祉課長補佐

まず要援護者1人から始めること。動きをすることで賛同者が増えてきます。

という内容の話でした。それぞれの集落で住宅地図を広げて災害図上訓練をやってみませんか？

集落ごとの住宅地図や地域の資源シールなどは、社協で用意させていただきます。必要があれば講師も派遣いたします。地域福祉係(宮澤・小澤)にご連絡下さい。



城野仁志氏  
「災害時の要援護者の避難を助ける仕組みづくり」と福祉避難所について考える」のテーマで、指導いただきました。

内容  
災害が起こった時、身体が弱い人、身体が不自由な人、妊婦、災害におびえている子ども、介護が必要な人など、地域の指定された避難所での生活は、無理な人がいます。

1集落の中に、歩いて15分以内のところに一時的な避難所にするところを決める。(隣は応急救助所)  
2区長が中心になって、災害が起こった時、援助の必要な人1人づつ、どんな配慮が必要かを聞いておく。  
4地域の資源をチェックする。

このようなことを、災害図上訓練をとおして集落ご

## 社協の事業 生活福祉資金の貸付

この資金は、更生資金、福祉資金(結婚・出産・葬祭の費用等、障害者の自動車購入の費用等)、修学資金(高校大学等の入学及び修学費用)、療養・介護資金等の貸付をとおして、自立した生活を支援し、計画的に償還する主体性を重要視しております。貸付に関しては民生委員にご相談ください。その他に離職者支援資金、長期生活支援資金があります。

お問い合わせください。 担当 庶務係

## 毎年7月は社会を明るくする運動月間です

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めそれぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。



## 社会を明るくする運動によせて 継続と改革の力

飯水地区保護司会会長 近藤良雄

全国の社会を明るくする運動の発足については昭和26年で、その活動は本年度56回を数え、全国的な運動として定着しております。飯山市においても、同様の歴史の中で数多くの先輩諸氏のご熱意とご努力によ

り事業が継承され、立派に行われております。今回の重点目標は「犯罪、非行の防止と更正の援助のため地域住民の理解と参加を求め」とし統一評語は「ふれあいと対話が築く明るい社会」とされました。

犯罪や非行のない安全な地域社会は、平穏な市民生活を送るための重要な要素となります。

このことから、いつそう活発な活動の改革を行いたいと思えます。長い間の継続の力により多くの人の心に刻み込まれた運動の意義は大きいものがあると確信いたします。改革の力と継続の力の相乗効果が、飯山の社会を明るくする運動の特徴であつて欲しいという願いから、市民の心に訴えていきたいと願っています。

**第51回 飯山市社会福祉大会**

期日 平成18年8月26日(土)  
時間 午後1時00分  
受付開始12時00分から  
会場 飯山市民会館ホール

内容  
★表彰  
・社会福祉事業に功労があった方  
・社会福祉事業に労役的、経済的に協力援助した方  
・優良福祉団体  
・社会福祉事業に携わり退職された方  
・障害者等で更生意欲が旺盛で自立更生している方  
・5年以上重度の方を介護をしている方

★記念講演  
(飯山市公民館雪国大学教養セミナー)  
演題  
脳いきいき活性化はここがポイント  
講師 東北大学 川島隆太先生

★市民作品展 会場 ホワイエ  
大勢のみなさんの出品をお願いします。  
ご協力いただける方は、飯山社協 地域福祉課までご連絡をお願いします。Tel 62-2840



飯山駅での啓発運動風景